

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030301010	予算コード	01023000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	家庭児童相談室運営事業			正規職員数 1	国庫支出金 16	有効性		児童虐待を見守るネットワークである泉佐野市要保護児童対策地域協議会の充実を図るため、その専門部会として平成26年度周産期支援部会、平成27年度教育支援部会の設置に取り組んできた。平成29～30年度には国のモデル事業「大阪府産前産後母子支援事業」へ参加。引続き特定妊婦への対応が必要である。		
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 2	府支出金 16		B			
根拠法令等	市単独事業 ■法律・政令・省令 児童福祉法 児童虐待防止等に関する法律			臨時職員数 0	市債 0	効率性			B	
				歳出(千円)	その他 0	妥当性			C	
				人件費総額 17,170	一般財源 17,987	減価償却費 0				
					事業費 849		受益者負担			該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	18,019	緊急性			A	事務事業実施内容
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	179					
対象				活動指標	H30実績	公的関与			B	児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護や家庭支援に努めることができた。 児童虐待の未然防止、早期発見に繋がるよう要保護児童対策地域協議会の機能強化や関係機関の連携強化に努めた。
特定の市民		対象数	9,010	相談日数	244.0					
子育てに不安を抱えている家庭等				相談件数	9,010.0	実施主体・委託化		B		
事業の内容				子どもフリーダイヤル開設日数	244.0	他の事務事業との関連		A		
家庭児童相談員が電話や面接、訪問等により育児や家庭の様々な困りごと等の相談に応じる。子どもフリーダイヤルにおいては、子どもからの相談に応じる。 泉佐野市要保護児童対策地域協議会の調整機関として関係機関と連携を図り、児童虐待の早期発見、防止、対応を行う。				子どもフリーダイヤル受付数	64.0					
				成果指標	H30実績	透明性		B		
				岸和田子ども家庭センターの相談件数	455.0					
				相談件数(市)	9,010.0	財政健全化計画		該当なし		
				子どもフリーダイヤル受付数	64.0	財政健全化の取組		該当なし		
事業の目的				コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度		該当なし		
児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護を目的とし、家庭支援を行う。				相談1件あたりの事業費	1,999.9					